

東海大学大学院医学研究科では、これまでに4つの教育コースを設置し、

次世代のがん個別化医療実現のための人材育成を継続的に行っており、今回、新たに2つのコースを開設しました。

従来の教育内容に加えて、「遺伝看護」ならびに「倫理支援」という側面から

がんゲノム医療支援ができる専門家を育成を目指しています。

これらのコースでの教育を通して、がん医療に関わる遺伝看護ならびに倫理的・社会的問題に対応することができ、

かつ多職種協働の中核を担うことのできる人材の養成を目指します。



COURSE

1 | がんゲノム/遺伝看護の高度実践者養成コース

がん分野をサブスペシャリティとする遺伝看護専門看護師(または資格取得を目指す人材)として、がん患者や家族に対する高度実践、コンサルテーション、コーディネーションに携わり、がんと遺伝看護の横断的研究及び教育を担います。

対 象	大学院医学研究科看護学専攻(修士課程)		
職種・分野	看護職		
修 業 年 限	2年間		
修了要件・履修方法	共通必修科目(看護理論、研究方法概論、看護研究ゼミナール1・2)8単位、共通選択科目(臨床薬理学特論、フィジカルアセスメント特論、臨床病態生理学特論)6単位、4科目(看護倫理、看護管理論、看護教育論、コンサルテーション論)のうち2科目4単位、遺伝看護学領域科目(遺伝看護学特論、遺伝看護援助特論、遺伝基礎科学1・2、遺伝看護援助論A・B)12単位、遺伝看護専門看護師の受験要件に関わる科目(医療倫理学、家族看護学特論、遺伝カウンセリング特論、遺伝看護学実習1・2・3)16単位の計46単位を修得し、修士論文の審査に合格すること。		
履 修 科 目	<p>〈必修科目〉</p> 看護理論(2単位) 研究方法概論(2単位) 看護研究ゼミナール1・2(4単位) 臨床薬理学特論(2単位) フィジカルアセスメント特論(2単位) 臨床病態生理学特論(2単位) 遺伝看護学特論(2単位)	遺伝看護援助特論(2単位) 遺伝基礎科学1・2(4単位) 遺伝看護援助論A・B(計4単位) 医療倫理学(2単位) 家族看護学特論(2単位) 遺伝カウンセリング特論(2単位) 遺伝看護学実習1・2・3(10単位)	<p>〈選択必修科目(2科目4単位)〉</p> 看護倫理(2単位) 看護管理論(2単位) 看護教育論(2単位)

COURSE

2 | がん患者の倫理・社会的問題に対する支援者養成コース

がん拠点病院や地域の中核的病院や医療・ケアチームの一員として、倫理的、社会的問題を解決するためのコンサルテーションや多職種協働の中核を担う人物を養成します。

対 象	大学院医学研究科医科学専攻、看護学専攻(修士課程)		
職種・分野	医師、歯科医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、遺伝カウンセラー等		
修 業 年 限	2年間		
修了要件・履修方法	研究指導教員の担当する医科学研究ゼミナールIとII(合計8単位)および医科学研究序論特講の2科目と選択科目から20単位以上(境界領域強化科目から12単位)、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。あるいは、看護研究ゼミナール1と2(合計4単位)、看護理論(2単位)、研究方法概論(2単位)合計8単位を修得し選択科目から20単位、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査に合格すること。		
履 修 科 目	履修モデルA	履修モデルB	
	<p>必修科目</p> 医科学研究ゼミナールI(4単位) 医科学研究ゼミナールII(4単位)	看護研究ゼミナール1(2単位)	看護研究ゼミナール2(2単位)
<p>選択科目</p> 生物統計学(1単位) 医学情報学特講(2単位) 病理病態学特講(2単位) 臨床試験の基礎(1単位) 社会医学特講(2単位) 社会医学特講実習(2単位) 精神保健学特講(2単位) 精神保健学特講実習(2単位) 放射線関連法規・医療倫理(2単位) 国際医療学特講(2単位) 国際医療学特講実習(2単位)	フィジカルアセスメント特論(2単位) 量的研究方法論(2単位) 臨床病態生理学特論(2単位) 臨床薬理学特論(2単位) 看護管理論(2単位) 家族看護学実習1(2単位) がん看護学実習1(2単位) コンサルテーション論(2単位) 家族看護学実習2(6単位) がん看護学実習2(4単位) 医療倫理学(2単位) 国際看護論(2単位) 家族看護学実習3(2単位) がん看護学実習3(4単位)		